B7FH-6811-01-00

PRIMERGY TX200 S6

はじめにお読みください

作業を始める前に

❑ マニュアルの最新情報について

マニュアルの最新情報は以下のURLを参照してください。
http://primeserver.fujitsu.com/primergy/manual.html

❑ 梱包物を確認する

『梱包物一覧』をご覧になり、梱包物がすべてそろっているか確認してください。カスタムメイドサービスを利用してご購入された場合は、添付の『保証書』(『構成品一覧』が添付されている場合は『構成品一覧』)をご確認ください。

❑ 『安全上の注意およびその他の重要情報』を確認する

添付の『安全上の注意およびその他の重要情報』には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に取り扱ってください。また、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

❑ サポート&サービス

PRIMERGYに関する最新の情報や、製品･サービスに関するお問い合わせ、修理などにつきましては、添付の『サポート&サービス』をご覧ください。

使用許諾契約書

富士通株式会社(以下弊社といいます)では、本サーバにインストール、もしくは添付されているソフトウェア(以下本ソフトウェアといいます)をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。
なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本サーバでのみ使用できます。なお、お客様は本サーバのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2. バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用(バックアップ)媒体を作成することができます。

3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4. 複製
(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用(バックアップ)媒体以外には複製は行わないでください。ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

5. 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェア(本サーバに添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます)を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたサーバとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本サーバに添付されている媒体を本サーバとは別に第三者へ譲渡することはできません。

6. 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7. 保証の範囲
(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本サーバをご購入いただいた日から90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥(破損等)等がある場合、本サーバをご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害(逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします)に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記(1)の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

8. ハイセイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計･製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命･身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

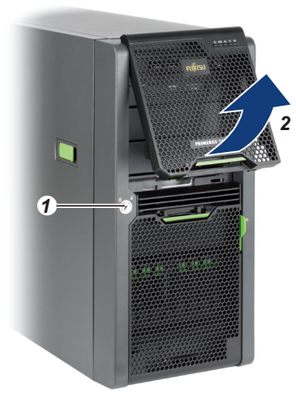
記
原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
Copyright FUJITSU LIMITED 2010

フロントカバーの取り外し

ドライブカバーとハードディスクカバーを取り外し、コントロールパネルや各ドライブを操作できるようにします。



1. カバーキーを差し込んで右に回し、ロックを解除します。
2. 緑色のタブを押しながら、ドライブカバーを取り外します。

1. カバーキーを差し込んで右に回し、ロックを解除します。
2. 緑色のタブを押しながら、ハードディスクカバーを取り外します。

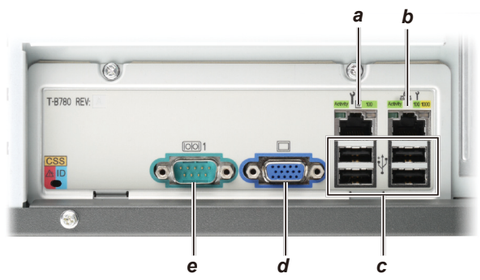
ドライブカバーとハードディスクカバーを取り付ける場合は、上記とは逆の手順で行います。

取り外したドライブカバーは、ハードディスクカバーの上にかぶせておくことができます。

外部装置用のコネクタ

外部装置用のコネクタは、サーバ本体の背面にあります。オプション品やインストールされている拡張カードによっては、他のコネクタもついています。標準コネクタは記号で示され、色で分類されているものもあります。

接続する装置によっては、別途、専用のソフトウェア（例：ドライバなど）が必要になります。
詳しくは、各装置の取扱説明書をご覧ください。



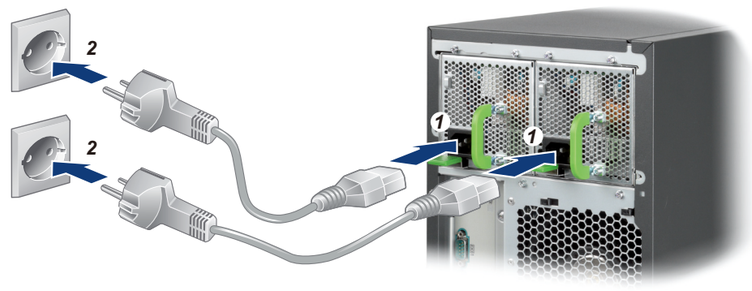
- *a* Management LANコネクタ(LAN1)
- *b* Shared LANコネクタ(LAN2)
- *c* USBコネクタ(×4)
- *d* ビデオコネクタ
- *e* シリアルコネクタ(COM1)

電源ケーブルの接続

- **本サーバの基本構成では、通常の電源ユニットが搭載されていますが、オプションでこの電源ユニットをホットプラグ電源ユニットに交換できます。2台目のホットプラグ電源ユニットを搭載することで、冗長電源機能が有効になります。**
- **主電源の電圧は、100V～240Vの範囲でサーバが自動調整します。**

ホットプラグ電源ユニットを2台搭載している場合、サーバ本体の電源は冗長構成になります。この場合は、各電源ユニットを別々の電源系統へ接続します。

※電源プラグや電源コンセントの形状は、国やご使用環境によって異なります。



1. 電源ケーブルを、サーバ本体背面の電源コネクタに接続します。
2. 主電源プラグを、電源コンセントに接続します。

ホットプラグ電源ユニットのランプは、サーバの状態に応じて次のように点灯／点滅します。

色	状態	意味
緑	点滅	サーバに電源を供給しています(サーバは待機モード中)。
	点灯	サーバは稼働中です。
オレンジ	点灯	電源ユニットに障害が発生しています。

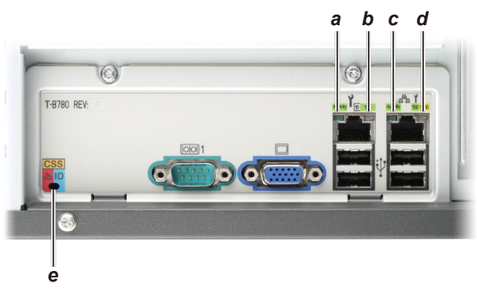
各部名称とランプ

● サーバ前面

- *a* USBコネクタ(×3)
- *b* システム識別灯／IDボタン
- *c* 電源表示ランプ／電源ボタン
- *d* リセットボタン
- *e* 保守用ボタン
- *f* ハードディスクアクセス表示ランプ
- *g* 前面保守ランプ
- *h* CSSランプ
- *i* 光ディスクアクセス表示ランプ
- *j* IDカード
- *k* ハードディスクアクセス表示ランプ
- *l* ハードディスク故障ランプ

IDカードには、部品名（型名）とシリアル番号が記入されています。

● サーバ背面



- *a* LANアクセス表示ランプ(Management LAN)
- *b* LAN転送速度表示ランプ(Management LAN)
- *c* LANアクセス表示ランプ(Shared LAN)
- *d* LAN転送速度表示ランプ(Shared LAN)
- *e* 背面保守ランプ／CSSランプ／システム識別灯

ランプの状態について

前面	背面	ランプ名称	色	状態	意味
b	*e*	システム識別灯	青	消灯	システム識別中ではありません。
				点灯	システム識別中です。IDボタンが押されたか、「ServerView」上で「システム識別灯表示」がクリックされました。
c		電源表示ランプ	緑	点灯	サーバの電源が入っています。
			オレンジ	点灯	サーバは待機モード中です(主電源電圧は存在します)。
f		ハードディスクアクセス表示ランプ	緑	点滅	内蔵ハードディスクユニットにアクセスしています。
g	*e*	保守ランプ	オレンジ	消灯	異常はありません。
				点灯	故障の予兆を検出しました。
				点滅	故障を検出しました。
h	*e*	CSSランプ	黄	消灯	異常はありません。
				点灯	CSS部品の故障の予兆を検出しました。
				点滅	CSS部品の故障を検出しました。
j		光ディスクアクセス表示ランプ	緑	点灯	光ディスクにアクセスしています。
k		ハードディスクアクセス表示ランプ	緑	点灯	ハードディスクにアクセスしています。
				消灯	ハードディスクにアクセスしていません。
l		ハードディスク故障ランプ	オレンジ	消灯	異常はありません。
				点灯	内蔵ハードディスクユニットが故障している、または正しく取り付けられていません。
				点滅	データのリストア中、または内蔵ハードディスクユニットを識別中です。
	a	LANアクセス表示ランプ(Management LAN)	緑	点灯	リンクを確立中です。
				消灯	リンクが確立されていません。
				点滅	転送中です。
	b	LAN転送速度表示ランプ(Management LAN)	緑	点灯	100Mbpsでコネクションを確立中です。
				消灯	10Mbpsでコネクションを確立中です。
	c	LANアクセス表示ランプ(Shared LAN)	緑	点灯	リンクを確立中です。
				消灯	リンクが確立されていません。
				点滅	転送中です。
	d	LAN転送速度表示ランプ(Shared LAN)	黄	点灯	1000Mbpsでコネクションを確立中です。
			緑	点灯	100Mbpsでコネクションを確立中です。
				消灯	10Mbpsでコネクションを確立中です。

詳しい内容、およびエラーの対処方法については、「ServerView Suite DVD 2」に収録されている『オペレーティングマニュアル』をご覧ください。

ホットプラグ電源ユニットの取り外し

緑色のレバーを矢印の方向へ押し上げながら(*1*)、ハンドルを持ってゆっくりと引き出します(*2*)。

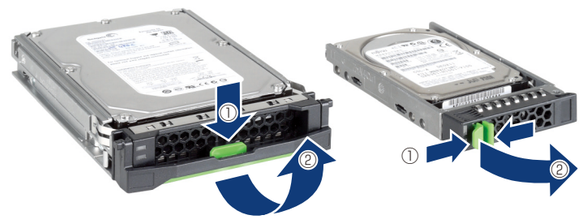
取り付ける場合は、上記とは逆の手順で行います。

内蔵ハードディスクユニットの取り付け

内蔵ハードディスクユニットは、標準構成時において、3.5インチタイプの場合は最大4台、2.5インチタイプの場合は最大8台まで取り付けることができます。

1. 内蔵ハードディスクユニットのロックを解除します。
緑色のタブを押しながら(①)、ハンドルを矢印方向に開きます(②)。

■ 3.5インチタイプ　■ 2.5インチタイプ



2. 内蔵ハードディスクユニットを、突き当たるまでゆっくりと差し込みます。

3. ハンドルを矢印方向に戻して固定します。

OSを開封する／新規にインストールする

Windows Server 2008/2008 R2を開封する場合は、記載の手順に従ってください。

Windows、またはLinuxを新規にインストールする場合は、ServerView Installation Manager(SVIM)を使用します。詳しくは、『ServerView Suite ServerView Installation Manager』をご覧ください。なお、Linuxの場合は、SVIMを使用する前にインストールDVDを作成するなど、準備が必要です。

VMwareを新規にインストールする場合は、SVIMは使用しません。詳しくは、VMwareの『ソフトウェア説明書』をご覧ください。

ServerView Suiteの最新情報は、「PRIMERGY ServerView Suite DVD」ページ(http://primeserver.fujitsu.com/primergy/products/note/svsdvd/)にて提供しております。必ずご覧ください。

❑ Windows Server 2008/2008 R2の開封

1 サーバの電源を入れます。
そのまましばらくお待ちください。
Windows のセットアップが起動し、「ライセンス条項をお読みになってください」画面が表示されます。

2 ライセンス条項に同意し、開封処理を開始します。

・Windows Server 2008 の場合
1. ライセンス条項をよく読んだうえで、「ライセンス条項に同意します」を選択して、「次へ」をクリックします。
「コンピュータ名を入力してください」画面が表示されます。
2. コンピュータ名を入力し、「開始」をクリックします。

・Windows Server 2008 R2 の場合
ライセンス条項をよく読んだうえで、「ライセンス条項に同意します」を選択して、「開始」をクリックします。

3 「ユーザーは最初にログオンする前にパスワードを変更しなければなりません。」と表示されたら、「OK」をクリックします。

4 「新しいパスワード」と「パスワードの確認入力」に設定するパスワードを入力し、「→」をクリックします。
「パスワードは変更されました。」と表示されます。

5 「OK」をクリックします。
「必ず実行してください！」画面が表示されます。

6 内容を確認後、「OK」をクリックします。
PowerUp Gear が起動します。

- **本操作はサーバを安定運用するうえで重要な作業です。必ず実施してください。**
- **PowerUp Gearは、高信頼ツールを一括してインストールするツールです。運用上必須のツールはグレー表示されており、選択は解除できません。**

7 インストール対象のツールを確認し、「実行」をクリックします。
各ツールのインストールが開始されます。メッセージに従って操作を行ってください。

各ツールのインストール終了時に、システムを再起動するようメッセージが表示されることがありますが、絶対に再起動しないでください。再起動を行うと、PowerUp Gearでの一括インストールが中断されてしまいます。

8 インストールの完了メッセージが表示されたら、「終了」をクリックします。
「開封作業完了」画面が表示されます。

9 「OK」をクリックします。

10 システムを再起動します。
「スタート」ボタン→「⇒」の順にクリックし、「再起動」を選択して「OK」をクリックします。

11 手順*4*で設定したパスワードを入力してログオンします。
「初期構成タスク」画面が表示されます。

12 必要に応じて、初期構成タスクの各項目を設定します。

❑ Windowsの新規インストール

SVIMでインストールを行います。

❑ Linuxの新規インストール

1 インストール DVD を作成します。
インストール DVD は、RHN（Red Hat Network）からダウンロードして作成します。

RHNへの登録については、「Red Hat Network、サブスクリプションの登録方法」(http://www.redhat.co.jp/FAQ/regist.html)をご覧ください。

1. RHN にログインします。
2. ISO イメージの公開サイトページを開きます。
インストールするディストリビューションを選択してください。
3. Binary Disc の ISO イメージをダウンロードします。
RHN の画面に、MD5 チェックサムが表示されています。ダウンロードした ISO イメージのチェックサムが正しいか確認してください。
4. ISO イメージから、インストール DVD を作成します。

2 富士通 Linux サポートパッケージ（FJ-LSP）を準備します。
FJ-LSP は、サポート契約されたお客様のみ対象となります。FJ-LSP は、富士通の SupportDesk 契約者様向けサイト（SupportDesk Web：http://eservice.fujitsu.com/supportdesk/）からダウンロードしてください。

3 SVIM でインストールを行います。
SVIM のアプリケーションウィザードで FJ-LSP を適用してください。

❑ VMwareの新規インストール

インストールメディアは、ヴイエムウェア株式会社のサイト(http://www.vmware.com/jp/)よりダウンロードしてください。

ダウンロードを行うためには、ライセンス取得が必要となります。詳しくは、『お客様登録とライセンス取得のご案内』※ をご覧ください。また、製品をご使用になる前にSupportDeskへの登録をお願いします。

※ VMwareバンドルタイプをご購入のお客様は、同梱されています。それ以外のお客様は、ソフトウェア製品をご購入いただく必要があります。

VMwareのインストール方法、および使用時に留意すべき事項については、VMwareの『ソフトウェア説明書』(http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/) をご覧ください。